



平成26年8月29日

各位

会社名 株式会社きんえい
代表者名 取締役社長 丸山 隆司
(コード番号9636 東証第2部)
問合せ先 取締役経理部長 好井 裕一
(TEL. 06-6632-4553)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成26年3月11日に公表いたしました平成27年1月期第2四半期累計期間(平成26年2月1日～平成26年7月31日)の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年1月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成26年2月1日～平成26年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,500	30	30	10	3.58
今回修正予想(B)	1,669	88	102	51	18.63
増減額(B-A)	169	58	72	41	
増減率(%)	11.3	194.2	240.0	410.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年1月期第2四半期)	1,573	50	43	23	8.52

2. 修正の理由

映画興行部門では、シネマ会員制度の充実、事前にクレジットカード決済の必要がない座席予約システムの導入、メールマガジンやブログ等によるシネマ会員への情報発信など顧客基盤の拡充を図ってまいりましたが、「あべのハルカス」全面開業に伴い増加した阿倍野地区来街者に、同地区唯一の映画館である当社「あべのアポロシネマ」の認知度が高まってきたことに加え、大型のヒット作品に恵まれたこともあり、来館者数は大幅に増加いたしました。また不動産事業においても、前年下期の大型テナントの退去の後を埋めるべく懸命にテナント誘致活動を進めた結果、入居率が上向いてきたこともあり、会社全体の売上高は前回発表予想を上回る見込みであります。一方、売上原価は、映画興行収入の増に伴いフィルム料は相応に増加しましたが、諸経費は部門別業績管理の徹底によりほぼ計画どおりとなりました。また、営業外収益では、退去テナントから収受した違約金は当初の見込みを上回った結果、各利益ともに、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、修正が必要となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、第2四半期累計期間の決算短信は、平成26年9月8日(月)発表予定であります。

以上